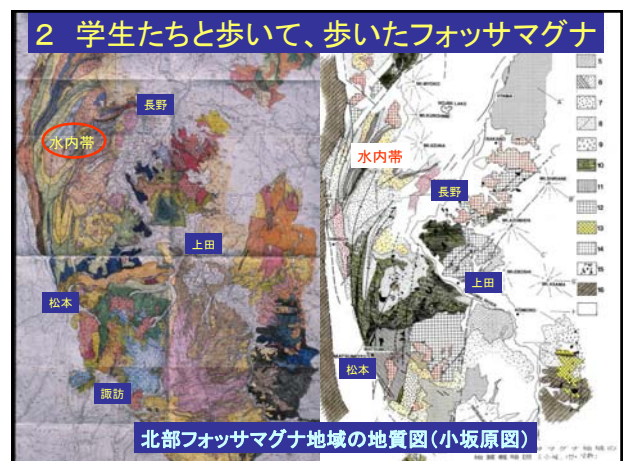
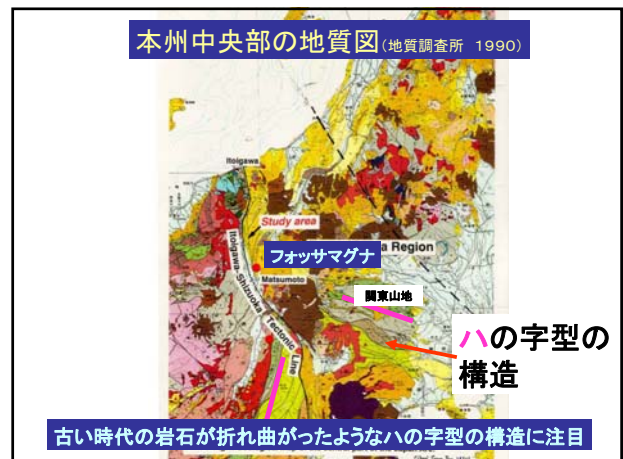




- はなしの流れ
- 1 まえおき: フォッサマグナの概観
 - 2 学生たちと歩いて、歩いたフォッサマグナ
—不思議なフォッサマグナ。だけどおもしろい—
 - 3 楽しく歩き、語り、飲んで過ごした信州40年
 - 4 おわりに



1) 水内(みのち)帯は大規模な褶曲帯



地上から眺められる水内帯の大規模褶曲: 込地向斜



インド、ムシュテクワリから眺めたヒマラヤ主峰

水内帯の地層はどれも海で堆積したもの



土尻川沿い。高府向斜の地層

金熊川沿い。高府向斜の地層



低ヒマラヤ帯から見た
グレートヒマラヤ

シワリク層の礫岩: グレートヒマラヤから運ばれた礫



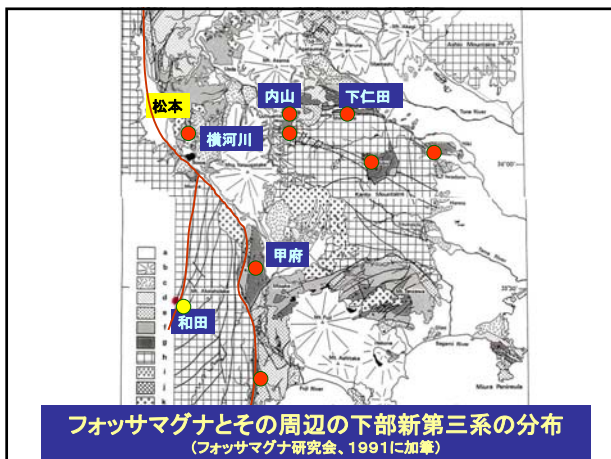
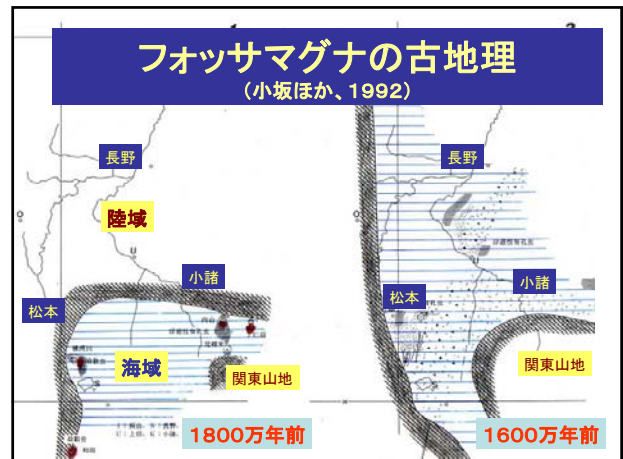
大峰帯から眺めた白馬三山



黄色はシワリク帯

1) フォッサマグナが出来た頃の難問

- フォッサマグナ内部にたまった最古の地層は？
 - その地層の特徴は？
 - その当時の古地理は？



3 楽しく歩き、楽しく語り、そして楽しく飲んだ信州での40年



・ 調査結果から明らかとなったこと・

- 1) フォッサマグナ地域での最古の中新統は、**17～18Ma頃**の**海成層**である。
- 2) それらの分布は、中央構造線付近を境にして**外帯側**に限定される。
- 3) フォッサマグナ地域への最初の海進は、**太平洋側**からだった可能性が高い。
- 4) 日本海や北部フォッサマグナへの海進は、それに引き続いて生じた可能性が高い。
- 5) フォッサマグナは、その南部と北部とは発生の時期にずれがある。



